

駅前再開発に必要な最低限の土地建物を確保すべき

町長 土地建物の取得方法、議論を重ね検討する



作井 繁樹 議員

に考えているのか。

町長 現在、鉄道・運輸機構、JR北海道及び学識経験者と検討している。

作井 移転対象予定者の意向調査

町長 再度全移転対象予定者を対象とするとともに、高齢者向けの住宅確保の参考ともなり得るよう工夫すべき。

町長 再度意向調査を実施すべく、現在準備を進めている。

町長 プライバシー意識の高まりなど、記入は強制できない。

作井 高齢者向け住宅の確保、具

体的な方針は。

町長 民間事業者が入居者を低中

所得層の高齢者に限定し、バリアフリー等に配慮した集合住宅を建設する場合、その建設費を一部補助する。平成31年度から開始するべく国に要望している。

作井 「ここだけは」

というべき最低限の土地建物は土地開発公社等を活用して確保すべき。

町長 北一街区、石造り倉庫につ

いては、今後のまちづくりの拠点として重要な地区。町として駅前周辺地区のまちづくりが必要となる土地建物の選定、土地開発公社の活用も含めた取得方法について議論を重ね検討する。

作井 車両設備に關し、新幹線を活用した救急搬送も検討

すべきであり、荷物収納スペースについては、最低限ストレッチャーが収まるだけのスペース確保を要望すべき。

町長 スキー・スノーボード関連

の荷物を持つての乗降が予想されるため、十分対応できるような車両となるよう引き続き要望する。また、それ以外の用途にも対応できる車両についても、あわせて協議したい。

作井 駅舎設備に關し、ストレッチャーが収まるサイズのエレベーター、俱知安駅、新小樽駅、札幌駅への設置を要望すべき。

町長 ストレッチャー対応エレベーターについては、今後関係者と議論したい。

一般質問 作井繁樹

作井

車両設備と駅舎設備、強い意志を持つて理屈、つけしついでいかないと絶対に押し切られる。他の町村を巻き込んでの交渉を。

町長

車両の荷物収納スペースにJR北海道も対

応を明言している。本町のみならず、関係自治体にも要請し、一緒になつて対応したい。

その他「広域連携の費用対効果」を質問しました。



街なかの賑わい創出を検証する「北1街区活用実証実験事業」